

インフルエンザの流行が始まりました！

～川崎市内におけるインフルエンザ流行状況～

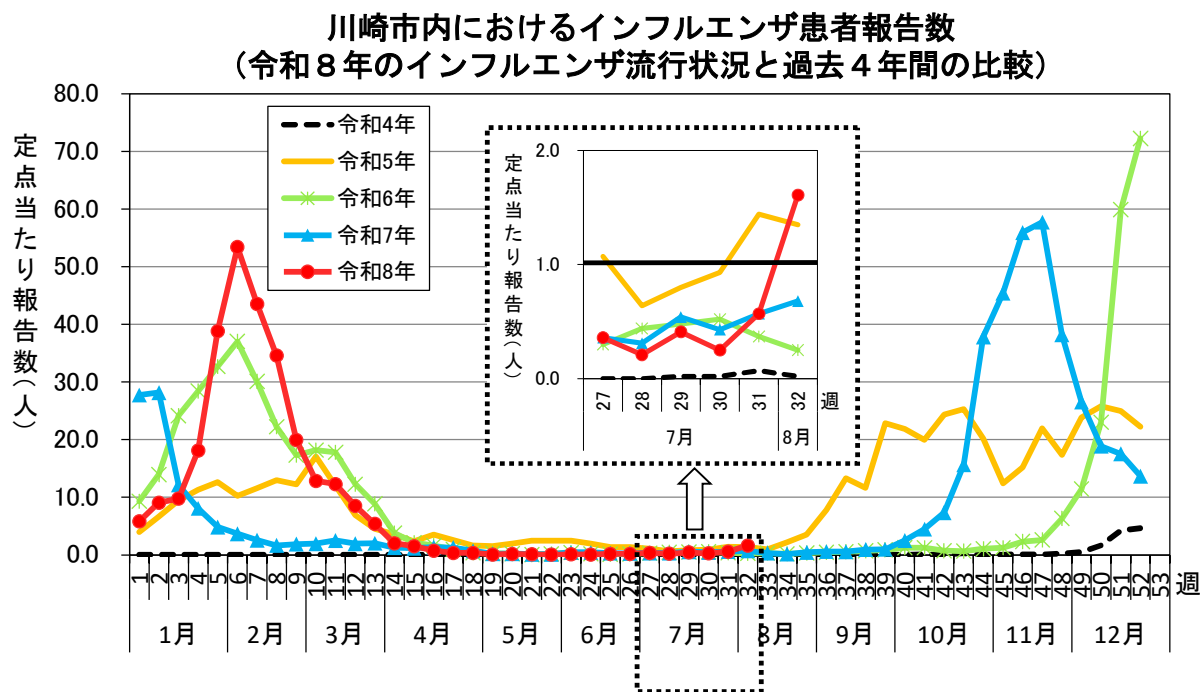
川崎市におけるインフルエンザの定点当たり患者報告数が、令和8年第32週（8月3日～8月9日）に、流行開始の目安となる1.00人を超えました。

昨年と比較し、2か月程度早く流行開始の目安に達しています。

今後流行の拡大も予想されますので、インフルエンザに「かからない、うつさない」ために一人ひとりがせきエチケットや手洗い等の感染対策を心掛けましょう。

1 本市におけるインフルエンザ流行状況

令和8年のインフルエンザの発生状況は、第16週（4月13日～4月19日）に非流行期となりましたが、第25週（6月15日～6月21日）以降増加傾向がみられ、第32週（8月3日～8月9日）に定点当たり患者報告数が1.61人となり、流行開始の目安である定点当たり1.00人を超えました。



（川崎市健康安全研究所感染症情報センター作成）

*本市で実施している感染症発生動向調査では、毎週61施設の急性呼吸器感染症定点医療機関から患者の発生状況を報告いただいています。

2 過去4週間の定点当たり患者報告数

第28週（7月 6日～7月12日）： 0.21人
第29週（7月13日～7月19日）： 0.41人
第30週（7月20日～7月26日）： 0.25人
第31週（7月27日～8月 2日）： 0.57人

3 インフルエンザの予防について

- ・外出から帰ったら、必ず、手洗いをしましょう
- ・人にせきやくしゃみをかけない「せきエチケット」を身につけましょう
- ・空気環境やふだんの健康管理に注意しましょう
- ・不要不急のときはなるべく人混みへの外出は避けましょう

《問合せ先》

川崎市健康福祉局保健医療政策部

感染症対策課 神庭（かにわ）

電話 044-200-2446（内線32921）

ウイルスを撃退して

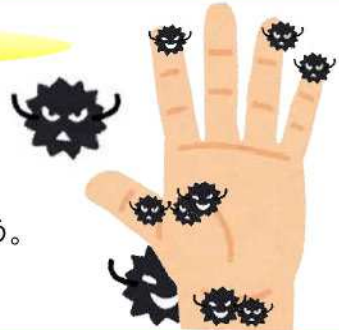
インフルエンザを予防しましょう！

川崎市内でインフルエンザの流行が始まりました。

インフルエンザに「かからない、うつさない」ために、正しい衛生習慣を身につけましょう。

外出から帰ったら、必ず、手洗いをしましょう

- ◆ ウイルスは目に見えないため、どこについているかわかりません。
外出したら、必ず石けんで手洗いをしましょう。
- ◆ 洗っていない手で、目や鼻、口を触らないように習慣づけましょう。
- ◆ 洗った手は清潔なタオルやペーパータオルで拭きましょう。



人にせきやくしゃみをかけない「せきエチケット」を身につけましょう

- ◆ せきやくしゃみが出たら、
 - ・他の人にうつさないようにマスクを着用しましょう。
(口だけでなく鼻もおおいましょう)
 - ・マスクを持っていない場合は、他の人から顔をそらし、ティッシュなどで口と鼻をおおいましょう。
- ◆ せきやくしゃみを手でおおったら、手を石鹸で丁寧に洗いましょう。
- ◆ 鼻汁、痰などを含んだティッシュはすぐゴミ箱にすてましょう。



空気環境やふだんの健康管理に注意しましょう

- ◆ 部屋は適切な湿度を保つようにしましょう。(湿度50%~60%程度)
- ◆ 定期的に換気をよく行いましょう。
- ◆ 十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めましょう。



なるべく人混みへの外出は避けましょう

- ◆ インフルエンザが流行してきたら、不要不急のときはなるべく、人混みや繁華街への外出を控えましょう。
- ◆ 発熱や関節痛等のインフルエンザが疑われる症状があるときは、無理をして学校や職場には行かず、早めに医療機関を受診しましょう。

